



地学協働アワード 本別高グランプリ

道教委は16日、地域と連携した探究学習などに取り組む高校のコンテスト「地学協働アワード」を札幌市中央区のかでる2・7で開

き、グランプリに十勝管内本別町の本別高を選んだ。全道15校が参加し、各校の生徒らがオンライン会議で活動内容を発表。道教委職員や社会教育の専門家ら11人が審査員を務めた。

本別高は探究学習「とかち創生学」で農協と共同開発したレトルトカレーや、本別署と共同制作した防犯動画などについて紹介。審査委員長を務めた道教委の村上由佳・生涯学習推進局長は「地域と学校が一体となった教育活動が展開されており、全道のモデルケースになる」と講評した。

準グランプリには津別

高、特別賞には倶知安農業高、岩見沢農業高、余市紅志高、帯広南商業高、帯広三条高、札幌あいの里高等支援学校の6校が選ばれた。

(大城道雄)